

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

健康で安心感のある暮らし				分類	発言順	会派名	質問者	大項目	中項目	小項目												
保健・医療	④	明日への風	掛田 勝彦	1 財政分析から読み解く本市のリスク要因と改善について	(1) 本市の財政の現状と将来に向けての重要論点について	令和7年11月策定の「令和7年度三次市実施計画・財政計画」に示されている病院改築事業が「再構築中」となっている。「再構築中」とは再検討中という意味なのか、その場合、なぜ今、病院のあり方を再検討しているのか、病院改築そのものを見直すのか、資材費等の高騰による財政負担増を受けて改築時期を先送りする判断なのか、あるいは施設の規模や機能、内容の見直しを考えるつもりなのか、病院改築は本市の財政に極めて大きな影響を及ぼす重要課題である。今回の再構築に至った背景について本市の考えを問う。																
						⑤	明日への風	藤岡 一弘	4 市立三次中央病院の運営について	(1) 今後の市立三次中央病院の経営について	市立三次中央病院の2024年度決算は、医業収益の減少や人件費上昇の影響で純損失7億2300万円を計上し、2004年の合併後で初の赤字となった。保険医療機関の経営に影響を与える「診療報酬」については、診察や検査・処置などの診療行為に点数を定め、報酬が支払われる仕組みであり、社会情勢に合わせて定期的に見直されている。原則として2年に1回改定されており、2026年は改定が行われる年度であり、療養報酬改定2026の全体像は、本体（診療報酬）+3.09%となっている。この度の診療報酬改定は賃上げや物価高対応など政策目的を持つ財源が上乗せされている一方、後発医薬品の使用や長期処方推進などで効率化することも含まれている。よって、改定率だけでなく、市立三次中央病院の収益構造に増減がどう配分されるかを分析する必要があると考える。2026年の診療報酬改定は、市立三次中央病院の経営にどのような影響を与えると分析しているのか問う。											
											(2) 市立三次中央病院の医療設備の充実について	市立三次中央病院経営については、黒字化や赤字縮減を目指し、患者の増加に向けた取組による収益アップや支出の見直しなどによって、経営改善に取り組んでいるとのことであるが、経営状況の改善も含め、見通しができているのか。今後の市立三次中央病院の経営について、見直しと経営改善の取組を問う。										
												(3) 病院改築事業の再開について	市立三次中央病院の医療機器等の設備について、患者の方々への医療サービスの充実や病院経営の観点から、医療機器設備の状況をどのように把握しているか問う。									
													「市立三次中央病院 経営強化プラン」では、計画期間内における施設・設備に係る主な投資の概要について、新病院への建替えを控えているため、大規模な設備投資は予定していないとしている。しかし、三次市実施計画では令和8年度は約5億5千万円の医療機器等整備事業を計画しており、令和9年度以降も約2億円の医療機器等整備事業を予定している。新病院の建替えが一時中断している状況下で、医療機器等の更新を含む、設備投資の方向性を問う。									
													新病院の建替えは、令和6年度に基本設計、令和7年度に実施設計、令和8年度から工事着工の予定であったが、建設費の高騰、物価や人件費の上昇や診療報酬改定の影響による病院事業の収支悪化により、基本設計を策定した段階で、建替事業を一旦中断することとしている。今後は、収支状況を見極めながら、事業を進めるとしているが、収支状況がどこまで改善すれば、病院改築事業を再開するのか。事業再開の判断基準をどのように設定するのか問う。									
													イ) 新病院の建替えが一時中断している中で、基本設計の変更を行う必要はないのか、所見を問う。									
													⑨	公明党	片岡 宏文	2 市立三次中央病院の運営について	(1) 近年の設備の修繕状況について	ア) 直近1年の設備関係の修繕箇所について問う。				
																		イ) 大規模修繕になった時の対応の想定はできているのか。				
																		(2) 薬剤師不足について	ア) 現在の薬剤師の体制の現状と課題を問う。			
イ) 今年の採用人数について問う。																						
ウ) 薬剤師奨学金返済支援助成金交付制度の活用はできているのか。																						
エ) 民間企業との処遇や賃金格差など把握はされているのか。																						

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

保健・医療	⑩	日本共産党	伊藤 芳則	2 国民健康保険税について	(1) 国民健康保険税が再び引上げとなることへの課題と懸念について	ア) 負担増への対策はないのか伺う。					
						イ) 支払困難者や滞納者が増加するのではないか。					
						ウ) 12分割支払いにできないか伺う。					
						エ) 一括払いの軽減はできないか伺う。					
福祉	⑪	真正会	鈴木深由希	1 福祉施策の現状について	(1) 合理的配慮の提供について	合理的配慮提供の解決策共有の機会について伺う。 ・必要な配慮を共有する機会とはどんな場面か。解決策を導き出すための方法の検討はされているのか。 ア) ・障害者並びに関係団体とのコミュニケーションが不足している。ヒヤリングが長く行われていない理由を伺う。 ・年に一度障害者連合会との意見交換会が現在停止している理由を伺う。					
						(2) 障害者支援ネットワーク連絡会議の運営について	イ) ヘルプマーク他の周知、啓発状況について伺う。 各マークの周知方法について、障害者並びに社会全般への啓発は行っているのか。具体策を伺う。				
							ア) 各部会の設置時期、設置目的を伺う。また、各会議の開催ペース、設置目的が果たされているか伺う。たとえば、差別解消支援部会では、どのような取組が行われているか。				
					(3) 意思疎通の方法について	イ) 本市と部会との役割分担について ・部会との協議・連携をどのように図っているか伺う。					
						ア) 手話通訳者の会計年度任用職員募集について ・現在の手話通訳者の配置状況と募集人数について伺う					
						イ) 手話普及の環境整備について伺う。 手話を子どもの頃から身近で使う機会があれば普及に繋がると考える。挨拶、自己紹介等、日常的な手話を学校で交わす機会が習慣的に行われると良いのではないか。					
					ウ) 知的障害者、発達障害者とのコミュニケーションについて伺う。 ・自分から意思表示をする力が弱い知的障害者、発達障害者が誤解により事件に巻き込まれることがある。これも社会の人々の無理解が要因で傷ついている現状がある。障害の特性を理解し受容できるような教育、指導が求められているが、市の見解を問う。 ・事業所においても同様な取組が必要だと思うが、行政としてどのような啓発ができるか。 ・細やかな啓発活動ができるのは、市独自の条例と聞く。12月定例会同僚議員の一般質問で条例制定の提案について本市は条例制定の予定はないとの答弁だったが、市長のお考えか伺う。						
					多文化・共生	②	清友会	宍戸 稔	3 平和行政の取組について	(1) 非核平和都市宣言の検証について	ア) 現状と新たな取組について伺う。
											⑥
イ) 振袖での参加がほぼ全員を占めている実態が、出席判断に影響している可能性はないか伺う。											
ウ) 女性活躍やリ・ターン施策を踏まえ、二十歳のつどいのあり方を検証し、女性が参加しやすい環境づくりを進めていくべきではないか。											
⑫	三輝会	弓掛 元	2 外国人の受入れについて	(1) 外国人受入れにおける「心づもり」「覚悟」と「支援のあり方」について	ア) 外国人の受入れにおける「心づもり」と「覚悟」について伺う。						
					イ) 外国人に対する「支援のあり方」について伺う。						

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

安全で快適な生活環境						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
自然環境				—	—	
生活基盤	⑪	真正会	鈴木深由希	2 行政の情報提供について	(2) AIオンデマンドバス「のるーと三次」の啓発について	ア) 「くるるん」の運行見直しから「のるーと三次」が検討された経緯を伺う。  啓発について伺う。 ・八次、三次、十日市のみの説明会とした理由は。 イ) ・実証実験の現状を伺う。 ・利用促進の啓発をどのように行うのか伺う。 ・運行状況により運行範囲を拡大するお考えはないのか。
	⑫	三輝会	弓掛 元	1 三次地区の諸問題について	(2) 都市計画区域内における下水道未整備地区の解消又は負担の公平化について	ア) 下水道未整備地区の現状認識と整備方針について伺う。  イ) 都市計画税の受益と負担の不均衡への対応について伺う。  ウ) 浄化槽維持費負担の格差是正に向けた支援制度と具体策について伺う。
	⑬	三輝会	細美 克浩	2 今後のインフラ事業、公共事業のあり方について	(1) 道路、上下水道等の公共インフラ整備の今後の配分について	ア) 道路拡幅・下水道整備・河川整備など生活基盤を支えるインフラへの投資を強化する方針があるのか伺う。  イ) 今後の公共事業の予算内で、インフラ事業と建築物の更新事業との配分はどのようにしていく方針なのか伺う。
				4 三次市地域公共交通計画について	(1) 周辺部における持続可能な地域公共交通体系の構築について	ア) 住民ニーズの把握と支援制度や財政支援についてどのような方針で検討しているのか伺う。  イ) AIやICTを活用し、周辺部においても利便性の高い交通ネットワークを構築する考えがあるのか伺う。  ウ) AIオンデマンドバス増台の考えについて伺う。
	⑭	三輝会	國重 清隆	1 地域づくりについて	(4) 周辺部の移動手段確保の取組について	ア) 酒屋地区、神杉地区、田幸地区、和田地区など周辺部の地域交通をどのように考えているのか伺う。
	防災減災・安全	③	清友会	保実 治	2 道路交通法改正による「自転車の安全利用」について	(1) 安全な自転車利用と事故被害の軽減に対する取組について

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

防災減災 ・安全	⑦	会派 未来	竹田 恵	3 三次市地域防災計画について	(1) 三次市地域防災計画の見直しについて	ア) 広島県地域防災計画の見直しを踏まえ、現状の課題と見直しについて伺う。（本市における重点的な見直しについて）
						イ) 避難所の施設改善について伺う。（トイレや水道施設の改修など日常的な管理・点検の徹底について）
				(2) 複合災害への対応について	ア) 南海トラフ地震，原発事故が同時に発生する「複合災害」における対応について伺う。	
					イ) 原発事故に備える訓練の実施について伺う。	
	⑬	三輝会	細美 克浩	1 持続可能な集会所の構築について	(2) 災害時にも確実に機能するための支援等について	ア) 必要な備蓄品の整備や設備支援等について何か施策があるか伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

子どもの未来応援							
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目	
子育て	①	清友会	重信 好範	2 里親制度推進の基本姿勢について	(1) 里親制度への市の認識について	ア) 本市がこの制度をどのように認識されているのか伺う。	
						イ) 本市の里親家庭の現状について伺う。	
						ウ) 里親家庭の課題認識について伺う。	
	③	清友会	保実 治	2 5歳児健診について	(1) 実施にむけての現状と課題について	ア) 現在の5歳児健診実施の検討状況と課題について伺う。	
						(2) 小規模特認校・学びの多様化学校開校に伴う健診の有効性について	ア) 教育委員会は、令和9年度に小規模特認校・学びの多様化学校を開校するとしている。入学者の応募、決定に当たる判断材料として、5歳児健診の結果があればよりニーズに応えられるのではないか。
						(3) 健診導入に向けての市長の考えについて	ア) 5歳児健診の実施について、市長の考えを伺う。
⑫	三輝会	弓掛 元	3 少子化対策について	(1) 少子化対策の見直しと結婚支援の強化について	ア) これまで実施してきた少子化対策について、出生数増加にどの程度寄与したと分析しているのか伺う。		
⑭	三輝会	國重 清隆	1 地域づくりについて	(1) 人口減少の課題と対策について	イ) 本市の子育て支援政策で、他の自治体に無い独自の政策はどのような政策があるのか伺う。		
教育	①	清友会	重信 好範	3 学校給食の無償化について	(1) 国が示した公立小学校給食無償化の方針に係る本市の取組について	ア) 本市として国が示した小学校給食無償化に向けての準備状況について伺う。	
						イ) 食材費高騰が続いているが、給食の質の向上について伺う。	
						ウ) 給食無償化における公平性の確保についての考えを伺う。	
	②	清友会	穴戸 稔	1 これからの学校運営のあり方について	(1) 小中学校の再配置計画の進め方について	ア) 課題とこれからの進め方について、説明と対話、他の選択肢の考えを伺う。	
						イ) 教育と地域の将来を見据えた統合的な考えについて伺う。	
				(2) 学校は何のためにあるのか～主体性、当事者意識を育む学校運営への転換について～	ア) 学校教育の目的と現状認識について伺う。		

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

教育	②	清友会	宍戸 稔	1 これからの学校運営のあり方について	学校は何のためにあるのか～主体性, 当事者意識を育む学校運営への転換について～	イ) 「当たり前」とされてきた教育実践の見直しについて伺う。(宿題, 定期考査, 固定担任制など)
						ウ) 市長の教育観と行政としての責任について伺う。
	⑤	明日への風	藤岡 一弘	1 三次市の不登校対策について	(1) 不登校対策について	ア) これまでの本市における不登校児童生徒に人数は, 令和5年度が114人, 令和6年度が104人となっている。また, 長期欠席児童生徒は, 令和5年度が208人, 令和6年度が211人となっており, 高止まりの状況である。令和7年度における本市の不登校児童生徒や長期欠席の人数など, 状況はどのようになっているのか伺う。
						イ) 本市における不登校の主な要因について, 最も多く選択された要因は「学校生活に対してやる気がでない。」であり, 「生活リズムの不調」, 「不安・抑うつ」と続く。このような要因により不登校に陥っている状況をどのように捉えているか, 所見を問う。
						ウ) 不登校の児童生徒数を示す代表的な調査として, 文部科学省の「児童生徒の問題行動・不登校等 生徒指導上の諸課題に関する調査」がある。令和7年10月に公表された令和6年度調査からは, 不登校児童生徒数を「新規不登校児童生徒数」と「継続不登校児童生徒数」に分類し「不登校継続率」を算出している。本市における不登校児童生徒の不登校継続率はどのようになっているか伺う。 ※不登校継続率とは, 前回調査で不登校に計上された児童生徒のうち, 今回調査でも不登校に計上された児童生徒の割合のこと。
						エ) 令和6年度に三次市不登校支援・相談ガイドが作成され, 児童や生徒などに配付された。この三次市不登校支援・相談ガイドを利用した今後の不登校支援の展開について, このガイドが相談窓口となる学校現場などで有効活用されているのか。また, 作成に期待していた効果が発揮されているのか。三次市不登校支援・相談ガイドの活用状況をどのように把握しているのか伺う。
						ア) 三次市立学びの多様化学校等の設置に係る検討会議が設置され, 三次市での学びの多様化学校について協議が開始されている。この度の検討会議により, 教育に関する知見を有する方々の意見を反映することのだが, 検討会議を設置した目的と期待する効果をどのように考えているのか伺う。
						イ) 学びの多様化学校についての通学手段について, 遠方からの通学などの支援(スクールバスや移動費補助など)をどのように考えていくのか, 方向性を問う。
	⑥	明日への風	増田 誠宏	3 三次市パブリック・コメント手続条例について	(2) 個別計画におけるパブリック・コメントの課題について	イ) 学校のあり方基本方針(素案)において, 再配置計画を示さずに意見募集を行ったことは適切であったのか伺う。
				4 市立小中学校の再配置について	(1) 再配置計画の進め方と合意形成の考え方について	ア) 再配置後の長時間通学について, 教育行政として問題はないと考えているのか伺う。
		イ) 令和9年4月再配置予定校について, 具体的なスケジュールはどのように計画しているのか伺う。				
		ウ) 理解が得られたとは, 何をもちて判断するのか伺う。				
(2) 小規模特認校制度の位置づけと設置に向けた説明・合意のあり方について		ア) 本市の小規模特認校は, 全国的に理解されている制度と異なるのか伺う。				
		イ) 基本方針や再配置計画の段階で, より具体的な説明を示すべきではなかったのか。				
		ウ) 小規模特認校を選択する児童は, どのような児童と考えているのか伺う。				
		エ) 小規模特認校の設置に向けて, 今後どのように進めていくのか伺う。				

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

教育	⑥	明日への風	増田 誠宏	4 市立小中学校の再配置について	(2) 小規模特認校制度の位置づけと設置に向けた説明・合意のあり方について	オ) 少人数規模での学びを希望する中学生に対し、どのような選択肢を用意しているのか伺う。
	⑦	会派 未来	竹田 恵	1 放課後児童クラブの民営化について	(1) 支援員・保護者との協議の状況等について	ア) 職員団体との協議経過等について伺う。
						イ) 継続した雇用・処遇となるのか伺う。
						ウ) 保護者の不安や課題対応にはどのようにされたのか伺う。
					(2) 民営化した際の運営費（予算）について	ア) 来年度予算の検討について伺う。（継続した処遇について、人材確保と人材育成について）
					(3) 施設の改善予定について	ア) 各施設の照明やトイレの更新や修繕の考えについて伺う。
						イ) パソコンなどを用いた連絡手段の導入について伺う。
		(4) 今後のスケジュールについて	ア) プロポーザルのスケジュールや民間事業所での事業開始の時期等、今後のスケジュールを伺う。			
	⑧	会派 未来	新田 真一	1 中学校部活動の地域移行・地域展開について	(1) 中学校部活動の現状と課題について	ア) 地域移行できたクラブの数と主な内容を伺う。
						イ) 移行できていないクラブとその原因を伺う。
					(2) 部活動が「地域移行」から「地域展開」に変わることによる影響について	ア) 「地域移行」から「地域展開」に変わることで何が変わるのか伺う。
						イ) 学校の部活動と地域クラブの違い、部活動指導員について伺う。
					ウ) 教職員の兼職兼業について伺う。	
					(3) 「三次市地域クラブ(仮称)推進協議会」の役割と目的について	ア) 協議会の役割と目的について伺う。
					イ) 文科省新指針の地域クラブの認定制度の推進等について伺う。	
2 総合教育会議の開催の必要性について				(1) 総合教育会議での協議内容について	ア) 協議の議題は、何を基準にして選ぶのか伺う。	
	(2) 学校再配置に係る地域からの声や要望について	ア) 学校再配置の方針説明が地域に説明されたが、理解は得られたのか伺う。				
		イ) 再配置庁内連携会議で検討された内容について伺う。				

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

教育	⑧	会派 未来	新田 真一	2 総合教育会議の開催の必要性について	(2) 学校再配置に係る地域からの声や要望について	ウ) 教育委員への報告事項について伺う。
					(3) 新たな学校(学びの多様化学校・小規模特認校)ができることについて	ア) 新たな学校の選定における現状と今後のスケジュールについて伺う。 イ) 学びの多様化学校設置検討委員会の立ち上げについて伺う。
	⑩	日本共産党	伊藤 芳則	3 小規模特認校について	(1) 再配置計画と小規模特認校設置の進め方について	ア) 住民意見を聞くことが必要ではないか。
						イ) 小規模特認校の設置は全市的な議論が必要ではないか。
						ウ) 今後、学校の再配置計画は住民を交えて進めて行くことが必要ではないか。
						エ) 小規模特認校を今後どう進めて行くのか。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

豊かな心といきがい						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
芸術・文化	⑫	三輝会	弓掛 元	1 三次地区の諸問題について	(1) 尾関山100周年記念事業の総括について	ア) 100周年記念事業の総括と義士行列の成果評価について伺う。
						イ) 義士行列の継続開催に対する市の方針について伺う。
						ウ) 阿久里姫の歴史的・文化的価値の位置づけをどのように捉えているのか伺う。
						エ) 大河ドラマ実現に向けた役割意識について伺う。
						オ) 大河ドラマ誘致に向けた義士行列の戦略的位置づけについて、市の考えを伺う。
						カ) 義士行列を核とした連携による魅力発信とまちづくりについて伺う。
スポーツ				—	—	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

いきいきとした地域						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
定住・交流	①	清友会	重信 好範	1 新たな広島県知事誕生を機とした県と本市との更なる連携について	(2) 若者や女性が住みたくするような地域づくりについて	ア) 県と連携して魅力ある地域づくりをどのように取り組んでいくのか伺う。 イ) 若者の流出に歯止めをかける具体的な取組を伺う。
	④	明日への風	掛田 勝彦	1 財政分析から読み解く本市のリスク要因と改善について	(1) 本市の財政の現状と将来に向けての重要論点について	ス) 公共施設の削減は、単に数を減らせばよいものではなく、住民福祉の増進と一体で考える必要がある。同じ施設整備でも、地域によってはコミュニティビジネスや支え合い活動の拠点となり、地域発展に寄与する場合がある一方、活用されず財政負担となる例もある。実施計画の政策5にある住民組織の活動支援は、例えば公共施設の地域移管を進める上で鍵になると思う。重点事業の推進を前提に、中期的な自治体・地域の将来像について方針（方向）を定めていくべきだと思うが、本市の見解を伺う。
				2 本市における歳入確保の取組について	(1) 本市の将来を支える歳入確保について	ウ) 近年、地方自治体の増収増税として必ず話題に上るのが、法定外税とふるさと納税である。法定外税は本市において現実的な選択肢とは言い難い一方、ふるさと納税は寄附額が拡大し、全国的にも成長市場となっている。その推進には市長の強いリーダーシップが不可欠である。今後、寄附額増加に向け、ふるさと納税を一層強力に推進していく考えはあるのか、市長の見解を伺う。
	⑤	明日への風	藤岡 一弘	3 人口減少への対策について	(1) 三次市の人口減少対策について	ア) 本市の人口は、1985年に64,089人以降、そして、合併時2004年の59,300人以降も若年層を中心とする人口の流出や出生数が死亡数を下回る自然減による人口減少が続いている。社人研の地域別将来推計人口（2023年12月公表）においても長期的に人口減少が続いていくものと予測されている。こうした経緯を踏まえ、今後も本市の人口減少対策は、人口減少を最低限に抑えることを主軸にして、自然増減と社会増減の目標値を設定している。人口の自然増減について、合計特殊出生率を現状地の1.56を今後も維持していくことを目標に設定している。この目標を達成するために課題の把握と今後の取組をどのように考えているのか伺う。
						イ) 人口の社会増減(社会動態)について、目標値を125人の転出超過(令和4年度)から123人の転入超過(令和15年度)としている。この目標を達成するために課題の把握と今後の取組をどのように考えているのか伺う。
	⑫	三輝会	弓掛 元	3 少子化対策について	(1) 少子化対策の見直しと結婚支援の強化について	イ) 未婚化、晩婚化を踏まえた結婚支援への取組について伺う。 ウ) 行政主導の結婚支援の実施について伺う。
⑭	三輝会	國重 清隆	1 地域づくりについて	(3) 社会増に対する取組について	ア) 自治組織に集落支援員を配置されているが、空き家バンクの活用の掘り起こしと、移住状況、地域ごとにどのような状況であるか伺う。 イ) 移住体験・空き家見学現地ツアーを実施して、今年度の何世帯の体験があり、移住につながっているのか。また、体験者の意見等があれば併せて伺う。 ウ) 集落支援員への問い合わせや、移住体験ツアーに参加されて移住につながらなかった場合、どのようなことがネックになって移住されなかったのか伺う。 エ) 本市では、自治組織に集落支援員が取り組んでいる空き家バンク制度と併せて、お試し住宅についても検討してはと考える。市の所見を伺う。 オ) お試し住宅の第2弾として、国の制度で「空き家対策総合支援事業補助金」がある。市として調査研究を重ね、三次版のお試し住宅を検討したらと考えるが、所見を伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

住民自治	⑤	明日への風	藤岡 一弘	2 いきいきとした地域づくりについて	(1) 小中学校の再配置後の地域づくりについて	ア) 三次市実施計画の中に令和8年度からの新規事業として、学校の再配置後の地域づくりを支援する「地域資源を活用した元気な地域づくり支援事業」や「地域・子ども交流支援事業」がある。学校再配後の地域づくりについて、この新規事業を行う目的と期待する効果を問う。
						イ) 学校の再配置後の地域づくりについて、本市は、住民自治組織などの地域づくりを行う地域へ、伴走して支援することを表明しているが、新規事業の実施について、住民自治組織による企画の立案や運営支援などアウトリーチ型支援を行う必要はないか、所見を問う。
						ウ) 地域づくりや子ども達とのつながりづくりを支援する新規事業は、本市として学校の再配置後の地域づくりを支援しようとする姿勢がみえるものであると考える。しかし、学校が失われることによる地域への影響は大きい。学校の再配置後における地域づくりへのサポートをどのようにしていく考えなのか問う。
	⑪	真正会	鈴木深由希	2 行政の情報提供について	(3) 住民自治組織との連携について	住民自治組織の役割の見直しについて伺う。 ・市からの情報が住民自治組織に伝えられているが、その後の周知徹底を住民自治組織の責任としていないか。
						ア) ・住民自治組織で取りまとめ要望提出が求められている。全市民が仕組みを理解できないケースがある。 ・住民自治組織の課題として高齢化、役員のなり手不足が挙げられる。解決策には、住民自治組織の役割を今根本的に見直すことも必要ではないか。
	⑬	三輝会	細美 克浩	1 持続可能な集会所の構築について	(1) 集会所維持管理の負担軽減対策について	ア) 各常会で使用されている集会所について市として、どのような役割を担っているのか伺う。
						イ) 上水道を休止される集会所が増えると想定するが、今後の市としての対策を伺う。
						ウ) 基準の見直しとして、水道料金表の改定（基本料金の区分け）について企業団を含め関係団体と協議する考えがあるか伺う。
						エ) 負担軽減対策として、自治会向けの補助制度等検討する考えがあるか伺う
	⑭	三輝会	國重 清隆	1 地域づくりについて	(2) 学校再配置後の自治組織と行政の連携について	ア) 市は、学校再配置後の地域づくりについて、自治組織とどのように連携していこうとしているのか伺う。
						イ) 市として、自治組織への働きかけとしてメニューを提示し連携されるとの思いがあると思うが、自治組織の思いを反映した活動メニューであれば効果が上がると考える。そのような取組は出来ないか伺う。
ウ) 学校施設が大きかったり、支所管内の学校の敷地は広すぎたり、自治組織では管理が難しい学校跡地もある。用地が市所有の土地の場合、企業誘致ということも考えられるが、所見を伺う。						

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

活力ある産業							
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目	
農林畜産	①	清友会	重信 好範	1 新たな広島県知事誕生を機とした県と本市との更なる連携強化について	(1) 知事がマニフェストにかかげる本市に関する取組事項について	ウ) 本市の農林業がおかれている現状を踏まえ、新知事の示す施策方針とどのように連携するのか伺う。	
						エ) 県に対して農林業制度・事業の拡充や新たな施策の提案をしていくのか伺う。	
						オ) 農業振興に関して県とどのように協働していくのか伺う。	
	②	清友会	宍戸 稔	2 持続可能な本市の農業の確立について	(1) 市長の現状認識と重点方針の決意について	ア) 本市の農業の現状と課題をどのように認識しているのか。積極施策の考えと決意について伺う。	
						(2) 中山間地域における農業政策について	ア) 担い手不足対策について伺う。
							イ) コメ政策について伺う。
							ウ) 基盤整備（条件整備）の推進について伺う。
	③	清友会	保実 治	3 鳥獣保護管理法改正について	(1) 土砂災害を引き起こすシカ対策の取組について	ア) 滋賀県北部ではシカによる食害で土砂災害が発生しており、本市でもそのような光景が増えてきているのが伺える。国は、シカは令和10年度までに生息頭数の平成23年度水準からの半減を目標に設定しているところだが、本市の今後のシカ対策をどのように考えているか伺う。	
						イ) 昨年4月に広島県北部森林管理署と本市は「シカ被害対策推進協定」を結んだが、今年度の連携を踏まえ、来年度以降はどのような連携を進めていく考えか伺う。	
						ウ) 国有林への「大型配水管を活用した効率的な捕獲個体の残渣処理」の導入について、検討状況を問う。	
					(2) 緊急銃猟制度の具体化について	ア) 制度の主な改正内容について伺う。	
						イ) 緊急銃猟の責任範囲と捕獲者の裁量範囲について伺う。	
ウ) 緊急銃猟における責任について伺う。							
⑦	会派 未来	竹田 恵	2 三次市の農業振興計画について	(1) 第2次三次市農業振興プランの成果と課題について	ア) 4つの基本方針の取組について伺う。		
					イ) 第3次三次市農業振興プラン（案）への展望について伺う。		
				(2) テゴスの活動状況と今後の課題について	ア) 1年間の取組状況と課題について伺う。		

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

農林畜産	⑦	会派 未来	竹田 恵	2 三次市の農業振興計画について	(2) テゴスの活動状況と今後の課題について	イ) 市民への周知と専門的組織について伺う。
	⑨	公明党	片岡 宏文	3 農業振興について	(1) 獣害対策について	ア) 狩猟免許の取得や箱罟補助の現状について伺う。
						イ) 令和7年度の駆除総数を伺う。
					(2) 残渣処理方法の見直しについて	ア) 鹿や猪などが民地で倒れていた場合の処理の方法はどのようになるのか伺う。
						イ) クリーンセンターに持ち込まれている頭数はどのくらいあるのか伺う。
	⑩	日本共産党	伊藤 芳則	1 農業経営について	(1) 農林業センサスの結果への対応について	ア) 農業従事者の減少をどのようにとらえるのか。
						イ) 農地の集積，大区画化，スマート農業では農業は守れないのではないか。
						ウ) 小規模家族農業者も経営が成り立つ農家支援が必要ではないか。
						エ) 所得補償・価格保障で持続可能な農業へ繋げていくことが必要ではないか。
	⑬	三輝会	細美 克浩	3 鳥獣被害対策について	(1) 鳥獣被害の総合的予防・軽減対策の強化について	ア) 予防対策として，捕獲をもっと強化して取り組む考えがあるか伺う。
						イ) 集落，個別支援としての補助上限額を拡充する考えがあるか伺う。
	⑭	三輝会	國重 清隆	2 持続可能な農業について	(1) 三次市農業振興プランの成果と今後の課題について	ア) 農業振興プランの4つの基本方針の1項目の「担い手の育成・強化」の成果と課題について伺う。
						イ) 農業振興プラン基本方針の2項目「農畜産物の生産力強化」の成果と課題について伺う。
						ウ) 農業振興プラン基本方針の3項目は「販売力の強化」だが，直売施設はどの程度増えたのか。あるいは販売高が増えたのか。また，学校給食での供給は増えているのか，成果と課題について伺う。
エ) 農業振興プラン基本方針の3項目は「販売力の強化」だが，どのような農畜産物が魅力アップし，どのような農畜産物が6次産業化されたのか，成果と課題について伺う。						
オ) 農業振興プラン基本方針の4項目「農地等の保全」の，担い手への農地集積や農業生産基盤の整備，景観形成等の成果と課題について伺う。						

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

農林畜産	⑭	三輝会	國重 清隆	2 持続可能な農業について	(1) 三次市農業振興プランの成果と今後の課題について	カ) 本市の地域計画区域内の農地面積約7千ヘクタールの内、何割が集積されており、今後の方向はどのように集積が進むのか、所見を伺う。
						キ) 農地の集積が進まない中で、小規模農家のスマート農業をどのように推進しているのか伺う。
						ク) 当初予算の「担い手育成・強化事業」新規事業「小規模水稲生産者機械導入支援事業ほか」として3,200万円予算化されているが、この事業の概要を伺う。
						ケ) 国の動向と、第2期三次市農業振興プランの成果と課題を踏まえ、更なる高みとしての第3期の農業振興プラン策定となると考える。第2期三次市農業振興プランからの変更点や特出すべき点について伺う。
商工	①	清友会	重信 好範	1 新たな広島県知事誕生を機とした県と本市との更なる連携強化について	(2) 若者や女性が住みたくするような地域づくりについて	ウ) 人口減少の歯止めをかけるために、今後具体的な企業誘致の取組を伺う。
						④
	イ) 即効性を考えた場合の短期での小規模企業誘致と、安定性を考えた中長期的な大規模企業誘致、この両面を戦略的に進める必要があると考える。これらを踏まえた本市の企業誘致に対する考え方について伺う。					
	⑤	明日への風	藤岡 一弘	3 人口減少への対策について	(2) 県立三次高等技術専門校の今後に対する市の考え方と取組について	ア) 広島県職業能力開発審議会は、三次高等技術専門校の廃止を検討するよう県へ答申し、県は2026年度中に存廃を判断するとしている。県立三次高等技術専門校は、広島県北地域における唯一の県立職業能力開発拠点として、長年にわたり若者や求職者、転職希望者の受け皿として技能習得と就業支援を担ってきた。特に中山間地域においては、地元で学び、地元で働くことができる環境の存在が、人口流出に抑制や地域産業の維持に極めて重要であると考え。この度の広島県職業能力開発審議会在が、三次高等技術専門校の廃止を検討するよう県へ答申ししたことについて、本市の考えを伺う。
イ) 県立三次高等技術専門校の存続は、効率性の問題だけで評価すべきでないと考え。人口減少対策や地域の産業維持のためにも、県立三次高等技術専門校の存続に向けて、地域と連携して県に対し存続を要望していく必要があると考えるが、今後の本市の取組を伺う。						
⑬	三輝会	細美 克浩	2 今後のインフラ事業、公共事業のあり方について	(2) 地元建設業者への受注機会と地域経済への波及について	ア) 地域建設業者の安定的な受注機会の確保に対して、どのような方針、支援策を検討しているか伺う。	
					観光	⑨
イ) 展望台までの道路はすれ違いなどできない場所もあるが、今後整備の予定はないのか伺う。						
ウ) 混雑時は駐車場に止められないケースが見受けられるが、駐車場整備の予定はないのか伺う。						
エ) 三次市駐車場混雑表示サービスがあるが活用出来ないか伺う。						
オ) ライブカメラの整備の考えはないか伺う。						

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

その他						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
その他	①	清友会	重信 好範	1 新たな広島県知事誕生を機とした県と本市との更なる連携について	(1) 知事がマニフェストにかかげる本市に関する取組事項について	ア) 市長へ新知事に期待する政策について伺う。 イ) 市長へ新知事に対して本市との政策に対してどう連携していくのか伺う。
	④	明日への風	掛田 勝彦	1 財政分析から読み解く本市のリスク要因と改善について	(1) 本市の財政の現状と将来に向けての重要論点について	<p>本市は、狭い市街地と広大な中山間地域を抱え、行政サービスの重点配分をどうするかという難しい課題に直面している。市街地集中型、集落重視の分散型、あるいは両者の均衡型などの選択は、市全体の将来を左右する。行政サービスと一体となる住民自治・地域づくりも踏まえ、本市はどの方向を目指し、どのような将来像を描こうとしているのかを問う。</p> <p>本市は高齢者比率が高く、今後の人口減少は避けられず、生産年齢人口の減少に伴い税収による留保財源も縮小せざるを得ない。加えて、広大な市域と中山間地域という地理的条件は、同規模自治体と比べ行政コストが高くなる要因となっている。本市の経常収支比率は類似団体や県内自治体と比べて高水準であり、特に公債費、物件費、補助費等が高い状況である。その要因について問う。</p> <p>本市の経常収支比率や公債費について伺う。本市の公債費に関する経常収支比率が高い背景には、過去の地方債発行の多さであると認識している。令和7年11月策定の財政計画では、令和8年度の経常収支比率は100.4%、実質公債費比率も令和8年度8.5%、令和9年度9.7%、令和10年度9.8%と上昇が見込まれている。今後、扶助費や物件費の増加が予想される中、建設事業等を優先する財政運営判断の妥当性について本市の考えを伺う。</p> <p>本市の物件費は、類似団体や県平均と比べて構造的に高い水準で推移している。その要因として、光熱水費や施設管理費などの委託料が多く、大規模合併により公共施設が過剰に保有されている点が指摘されている。近年、深刻な財政危機に直面する自治体では公共施設が大きな負担となっている。財源に限られる中、さらなる施設の削減が必要ではないのか、本市の考えを伺う。</p> <p>他会計への繰り出しも懸念材料である。繰出基準に基づく基準内繰出と、政策的な基準外繰出のうち、問題となる基準外繰出が直近の令和6年度決算において各会計でどの程度あり、その理由は何かを伺う。</p> <p>他会計への繰り出しは必要と思う反面、補助費等が大きい原因となっている他会計への繰り出しが一般財源を圧迫する現実もある。これらの見通しと抑制策を伺う。</p> <p>実質公債費比率は、一般財源に占める実質的な債務返済額の割合を示す重要な指標である。今後は合併特別事業債が使えなくなる中、大規模事業の実施は、これまで以上に実質公債費比率へ影響を及ぼすと考えられる。また、本市は将来の借金返済に充てられる充当可能基金額が少なく、将来負担比率が高くなることを考える。将来的に借金返済が削減できない場合、財源が減少すると一般的な行政サービス縮小につながりかねない。財政指標を踏まえ、今後の基金積立や地方債発行方針について本市の考えを伺う。</p> <p>本市の今後の財政運営方針は、令和7年11月策定の「令和7年度三次市実施計画・財政計画」に示されている。同計画は重点事業の実施を前提に財政計画が組まれており、経常経費だけでも令和8年度で約5億4,500万円の財源不足が生じている。さらに実施計画どおり投資的事業を行えば、毎年度約10億円規模の一般財源不足が見込まれ、基金取り崩しで対応する想定となっている。そこで、令和11年度以降も同様の財源不足が続く見込みなのか、本市の見解を問う。</p> <p>11月27日付の中国新聞北版では、本市の財源不足が約35億円に上るとの記事が掲載された。市のコメントとして「直ちに財政破綻しないが、決して望ましくない」との見解が示された。本市が考える財政破綻とは基金が枯渇した状態をいうのか、財政破綻についての本市の見解を伺う</p>

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

その他	④	明日への風	掛田 勝彦	1 財政分析から読み解く本市のリスク要因と改善について	(1) 本市の財政の現状と将来に向けての重要論点について	コ) 本市は財源不足を基金の取り崩しで補いながら財政運営を行わざるを得ない状況にある。この状態が続けば、現在の基金残高で将来にわたり対応できるのか懸念材料である。平成30年豪雨災害のような大規模災害が発生した場合の備えも十分とは言えない。財源不足を抑制、あるいは発生させないためには、収入増が難しい以上、支出削減が不可欠である。より踏み込んだ事務事業の見直しが必要と考えるが、本市の認識と対応方針を伺う。
						サ) 今後の財政見通しについて、財政力指数は概ね横ばいと見込まれる一方、経常収支比率や実質公債費比率は上昇傾向にあり、一般財源の余裕は一層縮小していくと考えられる。今後は、実施計画に基づく投資的
						セ) 事業の地方債償還や、新たな公共施設・インフラの維持管理費などが一般財源を圧迫すること予想される。人口減少下で行政サービス削減が避けられない中、重複する公共施設の見直しも含め、健全な財政運営に向けた本市の取組と考えを伺う。
	⑥	明日への風	増田 誠宏	2 物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金に係る説明のあり方について	(1) 市民や議会への説明のあり方について	ア) 事務手続きの不備を把握した後、議会への説明を行わなかった判断は妥当であったのか。
						イ) 6月定例会、または遅くとも9月定例会の段階で説明を行うことは可能ではなかったのか。
						ウ) 主要施策の成果に関する説明書は、交付金の収入状況を正確に示す内容であったのか。
						エ) 決算関係資料において、交付金の収入状況はどのように整理されているのか。
				2 三次市パブリック・コメント手続条例について	(1) 制度の趣旨と条例の考え方について	オ) 各担当部署は、資料作成時点で交付金が収入されない可能性を把握していたのか。
						カ) 本件において、市民及び議会に対する説明責任は十分に果たされていたと言えるのか。
						ア) パブリック・コメント制度は、市民参加の仕組みとして実質的に機能しているのか。
(2) 個別計画におけるパブリック・コメントの課題について	イ) パブリック・コメントに意見を出しやすい環境づくりを進めるべきではないか。					
	ア) 過疎地域持続的発展計画（素案）において、「個別事業は調整中」とした状態で、市民は実効性のある意見を述べる事ができたのか伺う。					
	ウ) 重要な情報を示さないまま意見募集を行うことが、市民の受け止めや評価にどのような影響を与えると認識しているのか伺う。					
	エ) 行政全体として、十分な情報公開と市民参加を重視する姿勢をどのように具体化していくのか伺う。					

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年3月定例会】

その他	⑨	公明党	片岡 宏文	1 公共施設の維持管理と入札制度について	(1) 公共施設の維持管理の考え方について	ア) 公共施設照明設備LED化推進事業の公募にあたりリース型と買取型の試算は出来ていたのか伺う。
						イ) 公募型プロポーザルにあたり1社しか公募がなかった見解を伺う。
						ウ) 分割発注はできなかったのか伺う。
						エ) 残りの施設の今後の計画を伺う。
					(2) 公共事業の入札の状況について	ア) 本市における公共事業の発注額が多かった時期と比べ現在の発注額と件数はどのように変わっているのか伺う。
						イ) 令和7年度の入札における、くじによる落札の割合を伺う。
	⑩	真正会	鈴木深由希	2 行政の情報提供について	(1) 「三次市まち・ゆめ基本条例」の検証について	ア) 検証結果の反映について伺う。 ・アンケート結果の分析はどのようにされているのか。 ・なぜ同じ内容の意見が繰り返されているのか。 ・この度の検証結果を受けてその後の協議は。今後の取組は。
						イ) 検証方法の見直しについて伺う。 ・4年に一度の検証だが、この期間が適切か。 ・検証委員の選定理由を伺う。
	⑪	三輝会	弓掛 元	4 山林境界の確定と固定資産税について	(1) 地籍調査の加速化と固定資産税賦課の適正化について	ア) 固定資産税の賦課について伺う。
						イ) 地籍調査未了地の救済措置について伺う。
						ウ) 最新技術による地籍調査の加速化について伺う。
	⑫	三輝会	國重 清隆	1 地域づくりについて	(1) 人口減少の課題と対策について	ア) 本市の人口は、広報でみると47,286人で、「みよし未来共創ビジョン」目標値より405人少ない人口となり、社人研の推計よりも143人は多い数値を示しているが、この状況をどのように捉えているのか伺う。